

日五廿月二

常磐每日新聞

定額一ヶ月五拾五圓 郵費五圓
 廣告費五拾五圓 電話一五五五
 日本郵政の認可 日刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

本地の風光

真繼、雲山

(二)

昔の支那人は、これをしばらく門外に坐して、人間の性善説、性悪説を論じたが、その本源に善悪はなく縁に於て開けば正邪となる。然らばその本源とは何ぞやといふに、それが菩提であり、涅槃であり、真如である。

即ち森羅萬象は真如の顯はれに外ならず、生死は涅槃の開いたものに外ならず、煩惱は菩提(正覺)の亂れたものに外ならず、凡夫は聖者の迷ふたものに外ならず、波は水の盛り上つたものに外ならず、色(現象)に空に外ならず、佛教でこれを色即是空と説き、波は即ち水なりと説き、凡聖不二と説き、煩惱即菩提と説き、生死即涅槃と説くのである。地獄と天堂と二つの世界が對立してゐるのではない、地獄、天堂はみな浄土の上に築かれた姿である。迷ひと悟りとが二つあるのではない、悟りといふ土台の上にもつれたのが迷ひである。生死即涅槃といふと大へん六つかしい話にきこえるが生死と涅槃とが二つあるのではない、ねはんとは、た

とへば健康體のやうなものである。生死(迷ひ、煩惱)とは、たとへば病氣のやうなものである。この私に健康體と病體との二つがあるのではない、健康體が病氣したのを病體といふのである。菩提(正覺)のこじれた

米ぬかを少しいつて、布に包み、火鉢、茶糊、茶筒など拭くと、つやの出るこ

のが煩惱(迷ひ)であり、水の盛り上つたのが波であるから、水と波とは別々のものでなく、生死とねはんとは別々のものではない。死ぬるといふことは、大へん困つた話になるが、死んだり生きたりといふのは恒久永生を地體とするねはんのもつれである。即ち生

- 二明日の献立
- 【朝】みそ汁ー甘藷 ねぎ
 - 【晝】ビーフソールー牛肉 玉ねぎ 食パン
 - 【晩】煮豆ー黒豆 芋ずる

死の地體(こゝで地體とは本家、故郷、本地ともいふ意味)は、ねはんであり永生である。死ぬるにせよ生きるにせよ、われわれの

地體、本地、故郷はねはんである。この故に生死として厭ふべきもなく、又ねはんとしあふべきものは無い筈である。

更に又われわれは、迷ふにせよ、迷はざるにせよ、その本地は佛である、この故に經には一切衆生皆有佛性、草木國土悉皆成佛と教へらる。誰れも彼も地體は佛であり、正覺を原料としてゐるのであるが、迷ふて苦しんでゐるのである。成佛とは、これから佛になることではなくして、前から有してゐる佛性、本地を發見することである。生死即ねはんの意味が分れば、初めて心源に徹し得る、本地の風光がつかめたら、それが見性成佛である。



夜渡る鳥

吉田 甫

○夜渡る鳥もあるらし此の夜寒鳴きて過ぎゆく聲ぞ聞こゆれ

○約束も遂に破れし日よ世は冬過ぎてかげろう燃ゆる
 ー或るデアナリストへー

外科

門專 X
 科線光
 上田外科病院
 平町南町
 電話一三九番

金銀高價買入

平町二丁目(三幸堂跡)
根本時計店
 電話六〇七番

イヤ！君！
 い、冬服を求めたね
 断然三三年型だよ
 いやコレカネ！
 例の……「ソレ」
正札堂
 六三四電通場車停目丁四平

貸切の●●●
 御用命は！
 獅子吼(四四九)ノ勢デ
 マツサキ
 眞先ニ……(マツサキ)
 ミクニ
 三九二タクシーへ!!!

吉田眼科病院
 平町星町、電話六八番

旭硝子株式會社製品
 赤菱印
板ガラス
 菓子 壘
 硝子 食器
 其他 各種
松崎硝子製作所
 平町新川町(電話一四二番)
 支工場 仙臺市築町(電話五九七番)

トモテモ白面
 不思議ナ玩具
 大人も子供も白熱的大歡迎
ヨロヨロが來ました
 世界的流行玩具一ケ金五錢
 平町前 **いづみや玩具店**

耳鼻咽喉科専門
 氣管食道科
 平南町(電話一七〇番)
大和田醫院

玉屋洋品店
 平町田町通電話六五六番

けふの町會で

青沼町長の説明

八年度豫算案審議さる

本日の平町會に於ける青沼町長の豫算説明は、左記の如くである。

「來年度の歳入出豫算は共に卅三萬六千九百六十圓で、是れを便宜上歳出から述べれば會議費の八百七十二圓増額は、既往に於ける町會の開會度數を参照して、その手當を一ヶ年分の歳費と爲し、議長七十圓、同代理五十五圓、議員四十圓と計上せる爲め、又土木費の二千二百四十一圓増は、平町として焼眉の急に迫られて居る土木事業が尠くないので、此數字を示し、小學校及び商業學校費の増額は學級増加に伴ふもの、公園の電燈料は従來會社の寄附となつて居たが、電柱税を徴收する爲め、一千五百圓、平商

成人教育の

公民講座

文部省の主催で 平第三校に開く

平町及び附近町村の青年を主眼とする公民教育講座は、來る三月十四日より四日間、文務省主催の下に平第三小學校に於て開かれるが、同講座の目的は國民の政治經濟

農家に資金融通

平町役場で取扱ふ

平町役場では、近く農林省より割當てられた米穀並びに肥料資金の融通を受付ける事になつたが、米穀資金の融通を受けた者は、三ヶ月以内に持米を賣却せぬ條件付きであり、また肥料資金の融通は購入代金の決済に充當するもので、申込は三月末日迄、因に兩資金の縣割當額は米穀資金廿萬圓、肥料資金卅五萬四千圓である。

公民學校 卒業生

卒業生の氏名

平實業公民學校卒業式は來る三月四日午後七時より平商講堂に於て舉行されるが、本年度卒業生は前期後期併せて左記十三名である。

前期

湯田淺己 伊藤武美 中川元一郎 野木博 草野政夫 鈴木幸太 大谷三郎

後期

本多一 茅根三郎 加澤治 四倉實 根内秀夫 松本正

植田養蠶協議

石城郡植田町養蠶實行組合役員會は來る廿八日午後一時より同町小學校に開き、役員の改選其他を協議する。

三坂工事竣工 石城郡三坂村上三坂字古事又地内及び同村字綱木地内道路

平町明年度の

土木事業概観

平町昭和八年度土木事業の豫定は左記の如くである。

▼經常部道路△鎌田遊廓裏通大門以外豫算一四六圓△同裏通同三三圓△五丁目釜屋側一六圓△新川筋月見町より上流一三三圓△大町屋眼科院裏手一四四圓△河町

山宗酒店の横通り六四圓△共濟病院通前後八二圓△南町大通二九七圓△稅務署横道五八四圓△堂の前より新川町に向ふ權淨寺裏四二圓△紺屋町扇屋の横通一五三圓△公園下新町通り一四八圓△縣社通り材木町より縣道に至る三三八圓△西村藥

店より役場に至る五四圓△新田町通り六八圓△役場前大通り二六二圓△平驛前新道通り南町間八九圓△仲間町大通二三五圓△平窪村幕の内通三二圓△川中子通八〇圓△柳町通分岐して城山に登る池の上七七圓△丹後澤上部切下工事二五圓△女學校前より湯殿山石段迄七二三圓△中學校正門より北目に通る中間三〇圓△八保町急坂三二九圓△第一小學

校前谷間三一九圓△丹後澤流末二一圓△第三小學校前三四三圓△町道全線七五〇圓

▼同暗渠△第三小學校前大通二三圓△女學校通小野新町分岐店三九圓

▼同用水路△共濟病院南側三九四圓△大工町井上町議裏手九五圓△長橋町二四圓

▼同公園△土砂浚渫二七圓△道路修繕一五八圓△竹垣修繕一〇五圓

海外教育視察 平町各小學校にては、縣より第七回海外教育視察員、詮衡方の通知に接したので、目下詮證

の匡教改修工事は何れも此程竣功したと

平町人事

回出生 長橋町一五 佐々木線氏 長男(百歳)

回婚 姻 △五丁目二三 當時東京市牛込區早稲田鶴卷町三〇 八 佐藤喜代三郎氏(三二) 播磨小路一 佐藤キク(二四)

美味! 芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

看護婦急派

の求めに應じます 平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

町民の

無關心さよ

▽皮肉る町議

けふの豫算町會

平町の豫算町會の開かれるけふ定期の午前十時迄に來場した議員數僅か二三に過ぎず焚き立てのストーブにへばりついて寒さうな姿四方山話しもひき立たぬ十時四十分頃ヤット定數以上に漕ぎつけたが十一時頃になつても傍聴者の顔は一人も見えない日常生活と密接不離の平町の豫算が議せられやうとするのに此有様はとばかり町民の無關心さに驚いた一人が「一名も傍聴者のない處を見ると餘程議員様の信認が厚いと見える」と皮肉を飛ばせば議長

入學志願の

トツプは全部合格

本日磐女へ東白河から

初めて入學願書

平町各中等學校にては本年度入學試験期も間近に迫つたので規則書初め入學願書等の請求申込額あり本日迄の是れが交附数は磐中三百七十八、平商二百、磐女三百五十であるが本日磐女校に東白河郡東館小學校片野チエ子さんが入學願書を送り本年度入學志願のトツプ

チオ故障機其他部分品の無料診査を行ふと
三月十四五兩日平町マルトモ樓上 同十八日湯本同郵便局長宅 十九日植田 同廿日勿來

水道料の競賣處分

來月十日に

平町役場水道課では昨年度後期分水道料未納者百五十名金額二百圓の整理で強制處分に附した物件を來月十日

磐女の四ヶ年間

皆勤者が卅四名

磐城高等女學校に於ける本年度卒業生は百七十六名に於ける三月十八日卒業式を舉行するが四ヶ年皆勤者は三十四名、精勤者は六名、一ヶ年無欠勤者は三名であると

家畜類傳染病

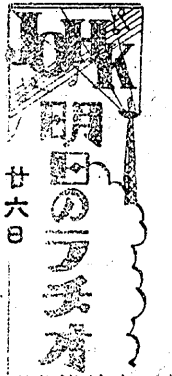
平署で映畫

平署衛生係では家畜類傳染病豫防思想普及の爲め來月六日午後六時より同署會議室に於て映畫會を備すと

トソビを借り

何所へか逃走

石城郡江名町宇南町木質宿佐渡屋事西村治三郎方へ去る十日より泊り込んだ自稱東京市京橋區横町インキ外交員佐川勇造(三)は昨廿四



今晚は北西の風晴
れ明日も北西の風晴

今晚の部

後六〇〇 子供の時間お話「やさしく出来るされいなお菓子」東佐與子
後七三〇 講演「選挙法の改正に就て」内務次官齊藤隆夫
後八〇〇 ピアノ獨奏
ピアノ獨奏黒川いさ子

明日の部

後八、三〇 小唄 藤村孝
後八、五〇 講演「錦帯の仇討」清草舎英昌
後九、三〇 満洲より氣象通報 番組豫告

平町の木炭相場

依然品不足で強調子

最近平町に於ける木炭の小賣相場は楢丸一俵八十錢、楢割七十錢、雜丸七十錢、雜割六十錢を前後し昨年より五六錢の強調子を見て居るが不況を見越して極力出炭制限をなした結果で需要末期の今日に至つても依然として品不足を告げて居ると

行衛不明

自殺の惶れ

石城郡内郷村大字小島宇花輪生れ當時京都府下東洋レ

肉と牛蒡の炊き(養) 研究所
前九三〇 子供の時間 獨唱 東京市下谷區御徒町尋常小學校六年生外
前一〇〇〇 宗教講話 「彌陀の利劍を揮つて此の國難を突破せよ」勝縁寺住職近松尊了
前一〇、四〇 講演「國際聯盟に際する小國」文學博士石橋五郎
前一一、一〇 講演 參謀本部支那班長陸軍輜重兵中佐柴山兼四郎
後〇、五〇 浪花節の午後(慶安太平記)木村重松(伊達騷動)浪花亭綾太郎

平裁判たより

石城郡四倉町宇新町七十番地漁業鈴木幸平(三)は昨年八月二十一日同町佐藤慶之助(四)所有の發動機船四十八社丸に船長として乗組漁業禁止區域の宮城縣亙理郡荒濱沖で鯉一貫匁を漁獲したる外二ヶ所でも同様違反行爲あり機船底曳網漁業取締規則違反として各罰金七十圓宛に日本平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

平職業紹介所報告

回人を求める方
△染物外交員 三十六才 尋卒 給料面談(平町某)
△農夫 五十才 年六十圓位(玉川村某)
△女中 五十才前後 月十五圓位(錦村某)
△雜夫 二十五才 尋卒 給料面談(江名町某)
回職を求める方
△土工夫 高卒 給料面談(神谷村某)
△コック 二十九才 尋卒 給料面談(田村郡某)
△精米所働 二十四才 尋卒 給料面談(草野村某)
△女事務員 二十一才 平陽卒 給料音談(平町某)
△土木現場監督 三十才 高卒 給料面談(湯本町某)

江名三業組合 石城郡江名町三業組合協議會は去る廿三日同町大森旅館にて開會規約の改正並に未加入營業者の勧誘等に就いて協議した
児童研究解散 石城児童研究會にては來る二十八日午後一時より平第一小

葉栗齋劍書

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫
佐々木見山

第二百七十六席

未望ある英次郎
海保半平は佐々木見山の打下した竹刀に打たれて二三間飛ましたこれを見て門人は驚いた佐々木は竹刀を投げ面を脱つて
佐「イヤ大きに失禮いたしたどうだナ怪我はいたさぬか」
と云はれて起き上つた海保半平
半「恐れ入りました、只今まで高名の先生に教を受けましたが老先生の如きはげしき太刀筋に出あつたことがございませぬ」
佐「そうであらう、俺の劍術は實用だかな、型などに重きを置く形のいゝ劍術ではない、これはな、戦ひに臨んだ時の役に立つやうにとその心掛けて工夫いたしたこの劍術」
半「左様にござりませう、老先生のお流儀は何と申しますか」
佐「流儀と名付けるところはない、彼の長所を取りおれの長所を取り又自分の工夫を加へるもので、さすれば何流とさして云ふべきものでのではない、強ひてそれに名付ければ五も六も



あらう、まア、出精なさるがよい」
と云つた時に千葉先生がそれへ出て
周「手前次男英次郎に一本御教導下さるやう」
佐「よろしい、教へて遣は

なり居つた、齋藤の道場で聞いたが、おまへは親父よりも出来そうだな、さすれば千葉の麒麟児ださア参れ」
面を着け竹刀を取つてそれへ進み寄る、名人に二代なしと申すがこの英次郎は千葉先生に優ると云はれたもの、剣道にかけては鬼才子との事、惜しい事には天死をいたしたが何にしてもこの道場では真田範之助と世び稱された達人、ピタリと青眼に取つてテリ、と進み寄る、佐々木見山は竹刀を掲げたま、さあ何處からでも打てと云はぬばか

す、さア、これへ出なさい、英「初心者でございます、お手やわらかにお願いします、下さい」
佐「おまへが英次郎であつたか、先年参つた時には母の懷中に乳房を握りながら睡り居つたが立派な若者に

り、英次郎は若いからこれを見るに憤然とした、この爺め俺を小見と思ひ居るか目にも見せてくれやうとエイと叫んで打を入れた、ボンニツ三ッ竹刀が合つたがコハ如何に英次郎の竹刀は手元を離れてブーンと飛んで行き、試合を見てお

た中村といふ門人の頭へ其竹刀が落ちた驚いた中村参つた……と云つたが之を聞くと一同ドツと笑ひました英次郎飛下つて
英「恐れ入りました」
佐「どうしたなもう一本立合ふか」
英「イヤもうこれにて宜しうございませぬ、しかしわたしくしも先生ほどの年までこの世に居りましたならばそれほどの技にはなるでございませう」
佐「えらい人ほどの世を経る、といふ事もある望みは大きく心はゆきく保て小さくもて申すは細に注意せよと申す事だ」
英「左様にございませぬ、御教訓は決して忘却致しません」
佐「コレ、千葉この件は物になるぞ貴公より質がよい良い俵を持つて仕合せだな」
と大層賞めました是から別室に通つて饗應を受けたが、この佐々木見山は劍術の名人にしてそれに學者、又時勢を見る眼識を備へて居る、日本も永く港を開してゐることは出来ない、今に外國と通商をすることに成るであらう、この國を開くに相違ないといふ事を知つてゐた、それに長崎に滞在してオランダ人に就て海外の事情を知りヨーロッパの文化の進歩致して居るを聞いて、これは我邦も今の内に用意を致さぬと大事を惹起すと大いに此事に就て研究を重ねました、

一册の代金で御希望通りな五册の雑誌が自由に讀める川崎巡回文庫 電六三〇番 申込次第(規則書進呈)

藤沼醫院 平町紺屋町 電話五〇七番

外科 X 光線科
性病科
外科科
安齊外科醫院
平町田町
電話四七五番

磐城セメント會社特約店
磐城平町五丁目 電話九番九九番

中村齒科醫院
平町鍛冶町七

北海屋の
名産 製米
右發賣致しましたから何卒多少に不拘御用命下さる様御願ひ致します
滋養豊富 味覺佳良ですから 御病人の御見舞に最適品
●價格低廉 萬人の御口に適しますから一般家庭の御贈答用に最適品
平二丁目
北海屋製菓部
電話三八八番